

福島第一原発事故に起因する食品の安全と消費行動に対する実態調査

御奥久美子¹、守田貴子^{1,2}、水野静枝³、松浦純平⁴、濱田美来⁵、尾花尚弥⁵、今村知明¹

- 1) 奈良県立医科大学 健康政策医学
- 2) 広島大学 歯歯薬学総合研究科公衆衛生学研究室
- 3) 奈良県立医科大学 老年看護学領域
- 4) 奈良県立医科大学 成人看護学領域
- 5) 三菱総合研究所

【目的】

福島第一原発事故に起因する食品の安全に関する消費者の意識と食品購入行動(WTP)との関係について明らかにする。

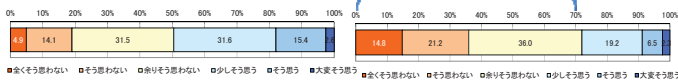
【方法】

- WEBアンケート調査を2011年4月下旬(4月調査)および7月下旬~8月(8月調査)の2回実施した。
- 10歳階級別人口比に割り付けした20歳以上の男女モニターに対して実施し、それぞれ約1,000名の回答を得た。
- アンケート項目は、福島第一原発事故によって、食の不安が高まったか、食品の買い控えをしたか、南東北・北関東産の食品の購入意思額(WTP)が食品安全委員会や小児科学会、産婦人科学会の説明を読んだ前後で変化したか等についてである。

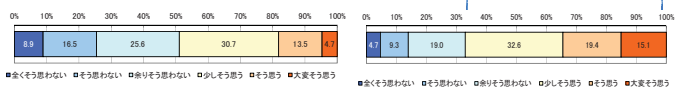
2011年4月調査

2011年8月調査

福島県・茨城県など南東北・北関東地方で栽培された食品は、安全だと思いますか



福島県・茨城県など南東北・北関東地方で栽培された食品を買いに、抵抗がありますか



4月→8月で、「安全でない・買うのに抵抗がある」が50%→70%に増加

事故報道後、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産の食品を買い控えしましたか。

2011年4月調査

2011年8月調査

	実数	%		実数	%
全体	979	100.0	全体	979	100.0
現在も買い控えている	175	17.9	現在も買い控えている	175	17.9
一時的に買い控えた	250	26.4	一時的に買い控えた	250	26.4
全く気にせず購入している	546	55.0	全く気にせず購入している	546	55.0

買い控え44%

買い控え63%

中国産食品との比較

2011年8月調査

問4. あなたは、中国産の農産物や水産物(鰯)、ウーロン茶等から、農薬や有害化学物質が検出された事件や、中国産の冷凍キョウザに農薬が混入し、これを食べた人が食中毒になった事件の報道の後、中国産の食品を買い控えしましたか。

	実数	%
全体	1083	100.0
現在も買い控えている	648	60.7
一時的に買い控えた	295	27.6
全く気にせず購入している	125	11.7

中国産食品の買い控え88%

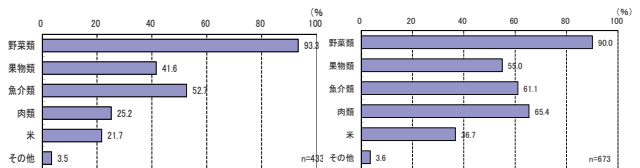
中国食品の方がより買い控え率が高い。

どのような食品に対して買うのを止めたり、控えたりしましたか

2011年4月調査

2011年8月調査

	実数	%		実数	%
全体	433	100.0	全体	673	100.0
野菜類	404	93.3	野菜類	606	90.0
果物類	180	41.6	果物類	370	55.0
魚介類	228	52.7	魚介類	411	61.1
肉類	109	25.2	肉類	440	65.4
米	94	21.7	米	247	36.7
その他	15	3.5	その他	24	3.6



果物類、魚介類、肉類、米では、4月に比して8月調査では増加している。特に、肉類の買い控えは2.6倍に増加。

購入意思額(WTP)

ホウレンソウの通常価格を1束100円としたとき、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産のホウレンソウを、いくらであれば買いますか。

2011年4月調査:平均WTP:88.2円 2011年8月調査:平均WTP:88.4円

通常価格で購入する人は4月調査44%→8月調査30%と減少した。

いくらであっても買わない人は、4月調査23%→8月調査39%と増加した。

牛乳の通常価格が1リットル160円のと看、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産の牛乳を、いくらであれば買いますか。

2011年4月調査:平均WTP:141.2円 2011年8月調査:平均WTP:137.2円

通常価格で購入する人は4月調査42%→8月調査27%と減少した。

いくらであっても買わない人は、4月調査26%→8月調査43%と増加した。

いちごの通常価格が1パック280円であるとき、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産のいちごを、いくらであれば買いますか。

2011年4月調査:平均WTP:243.2円 2011年8月調査:平均WTP:233.6円

通常価格で購入する人は4月調査42%→8月調査29%と減少した。

いくらであっても買わない人は、4月調査23%→8月調査38%と増加した。

購入意思額(WTP)

通常の単価が100円で売られている魚があるとき、福島県・茨城県など南東北・北関東地方沿岸で獲れた同じ魚を、いくらであれば買いますか。

2011年4月調査:平均WTP:88.4円 2011年8月調査:平均WTP:84.4円

通常価格で購入する人は4月調査42%→8月調査30%と減少した。

いくらであっても買わない人は、4月調査29%→8月調査42%と増加した。

通常価格が100グラム150円で売られている国産牛肉があるとき、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産の国産牛肉を、いくらであれば買いますか。

2011年4月調査:平均WTP:133.4円 2011年8月調査:平均WTP:124.6円

通常価格で購入する人は4月調査45%→8月調査26%と減少した。

いくらであっても買わない人は、4月調査24%→8月調査47%と増加した。

通常価格が5キログラム1800円で売られている米があるとき、福島県・茨城県など南東北・北関東地方産の米を、いくらであれば買いますか。

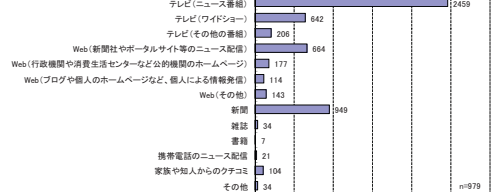
2011年4月調査:平均WTP:1591円 2011年8月調査:平均WTP:1521円

通常価格で購入する人は4月調査44%→8月調査28%と減少した。

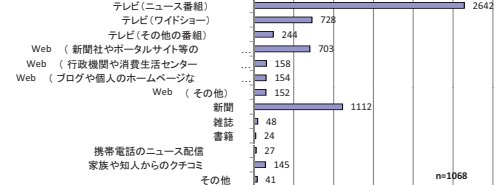
いくらであっても買わない人は、4月調査23%→8月調査41%と増加した。

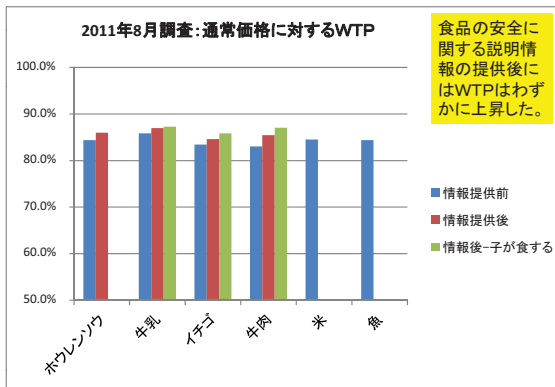
福島第一原発事故による食品の安全性への影響に関する情報の主な入手一順位による重み付け結果一

2011年4月調査



2011年8月調査





9

結語

- 食品の安全性に関する**不安感**、**安全でない**との意識、**抵抗感**、**買い控え**は、4月調査(事故後約45日)よりも8月調査(140日後)時点の方が高い
- 率は、**関心** > **不安感** > **抵抗感** > **買い控え**

|| 報道を注視 || 安全と思わない

- 牛肉の放射性セシウム汚染の報道(7月)によって消費者の不安感が高まり、消費者意識と購買行動がより影響を受けたと考えられる
- 安全性に関する情報の入手先としてはTVニュースが多く、影響が強いと考えられる
- 行政機関による説明は影響力が小さい

10